



平成26年10月23日

各 位

会社名 パ ス 株 式 会 社
代表者名 代表取締役CEO 柴田 励司
(コード番号 3840 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 村尾 正和
(TEL. 03-6823-6011)

EC 事業開始および新会社設立に関するお知らせ

当社は、平成26年10月23日開催の取締役会において、以下のとおり、当社事業の一つである決済事業の拡大を目的とし、新規事業であるEC事業への参入および共同出資による新会社（子会社）の設立を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. EC 事業の開始について

EC 市場は、平成25年度の国内市場規模は約11兆円（BtoC）で、消費市場全体の3.67%を占めており（*1）国内消費全体は微減する中であっても、EC市場は二ケタ成長となっています。昨今、ECサービスの浸透により、数多の商品が手軽にネット購入出来る環境になっておりますが、消費全体に占める割合は依然として低く、今後も拡大成長する市場分野です。

当社は、従前からECサイト等の運営事業者向けにオンライン決済サービスを展開しており、今後のEC市場の拡大に合わせて、オンライン決済事業の更なる拡大を目指しております。また、当社はオンライン決済事業を通じた取組み等から、EC運営事業者の商材調達に関わるニーズや販促支援に関わるニーズ等を認識しており、上記ニーズに応えていくことがオンライン決済事業との相乗効果に繋がり、当社の次の成長戦略に適していると判断いたしました。

2. 共同出資による新会社設立と事業内容について

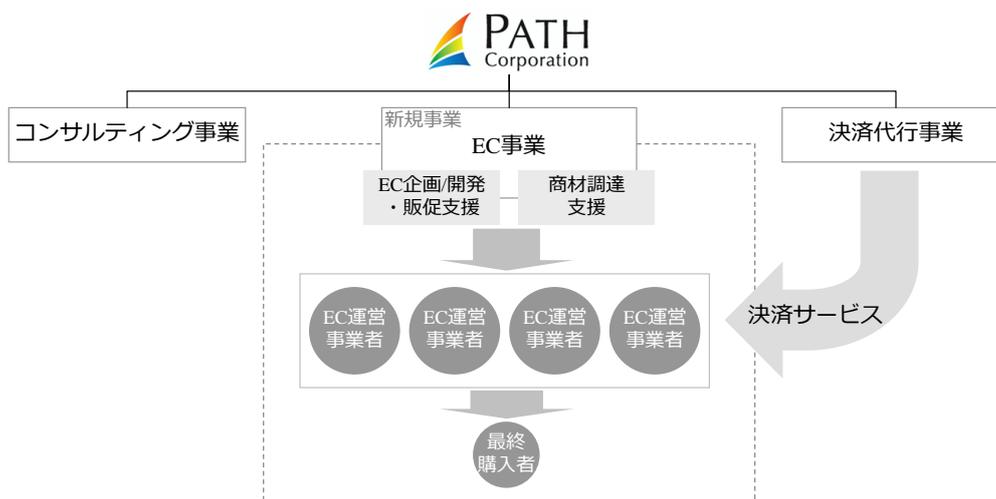
当社はEC事業の早期展開を図る事を目的に、同事業のノウハウや実績を持つ、株式会社ジークス社と共同出資にて新会社を設立いたします。

グループ子会社で化粧品を初めとするPB商品の企画や開発およびTVショッピングやネット通販などにおいて約35億円の売上実績を有するジークス社グループの、商品企画や商品調達、販促ノウハウなどの強みを生かし、EC事業の早期拡大につなげて行く所存です。

新会社は当社が80%出資する子会社として展開し、ジークス社は20%の出資を行い、主にEC運営事業者等に対する商品販売や商品企画等のサービス展開を目指してまいります。

なお新会社で行う具体的なサービスについては、詳細が決まり次第別途お知らせいたします。

今後、当社グループは同事業を展開する企業と幅広く資本提携および事業提携を実施し、EC事業の拡大を図ってまいります。



(*1) 平成 25 年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書「平成 26 年 8 月経済産業省」

- ・当該事業開始のために特別に支出する予定の金額
新会社への資本金、40 百万円の支払が発生する予定です。
なお、本日別途開示しております「第三者割当による新株式等に関する資金使途の変更と優先順位及び支出時期変更のお知らせ」にもありますとおり、必要資金は平成 26 年 3 月 11 日に公表しました「第三者割当による新株式及び第 6 回新株予約権の発行」にて調達した資金を資金使途変更の上、充当する予定です。

・新会社の概要

(1) 名 称	株式会社PATH マーケット
(2) 所 在 地	東京都港区虎ノ門 5 丁目 1 番 5 号メトロシティ神谷町 3 階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 柴田 励司
(4) 事 業 内 容	インターネット、カタログ等による通信販売業 その他、商品の企画、製造、加工、販売、輸出入ならびにその受託
(5) 資 本 金	50 百万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 26 年 12 月（予定）
(7) 決 算 期	3 月
(8) 出 資 比 率	パス株式会社：80%、株式会社ジークス：20%

(参考) ジークス社概要

- (1) 商 号：株式会社ジークス
- (2) 代 表 者：代表取締役 中谷文明
- (3) 設立年月日：昭和61年 7 月 1 日
- (4) 所 在 地：東京都渋谷区渋谷1丁目20番28号 美竹41ビル
- (5) 事業内容：持ち株会社
 - ・企業や団体におけるコミュニケーション活動の支援
 - ・クロスメディアプロモーションの基本計画・企画設計
- (6) 資 本 金：50 百万円
- (7) U R L：<http://www.zyx-inc.co.jp/>

3. 日程

(1) 取締役会決議日	平成26年10月23日
(2) 事業開始日	平成26年12月(予定)

4. 今後の見通し

本件が、当社の平成27年3月期の連結業績に与える影響につきましては、現時点では未定ですが、業績に重要な影響を及ぼすことが明らかとなった場合には、速やかに公表いたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想及び前期連結実績

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成27年3月期)	—	—	—	—
前期連結実績 (平成26年3月期)	385	△97	△122	△150

当社の事業特性上、合理的な業績予想が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。